

2018 年 12 月 17 日

東日本旅客鉄道株式会社

国土交通大臣表彰 「平成 30 年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を 受賞しました！

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、2018 年 12 月 17 日(月)に、「平成 30 年交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」を初めて受賞しました。

これは、さまざまな環境保全技術を導入した「エコステ」モデル駅整備を通じ、環境保全に関する活動に積極的に取り組んだ点が評価されたものです。

JR 東日本は、これからもグループ経営ビジョン「変革 2027」に掲げる「ESG 経営の実践」に向けて、「省エネ」「創エネ」の観点から新技術を導入し、地球温暖化の防止に取り組むとともに、エネルギーの多様化を図るなど、環境活動に積極的に取り組んでまいります。



【表彰式の様子（左から 国土交通大臣政務官 田中英之氏、JR 東日本代表取締役社長 深澤祐二、国土交通大臣 石井啓一氏）】

【参考】

1. 「交通関係環境保全優良事業者等大臣表彰」について

環境保全に関する取組みに顕著な功績があった事業者、事業所、団体に対し、国土交通大臣から表彰されるもので 2006 年から実施されています。

2. 当社が評価された「エコステ」モデル駅整備について

省エネルギー・再生可能エネルギーなど、さまざまな環境保全技術を駅に導入する取組み「エコステ」の整備を進めています。2018 年 7 月までに 10 駅で整備が完了しました。

「4 つの柱」に対応する環境保全技術を盛り込むことを基本方針とし、2020 年度までに 12 駅整備することを目指しています。

【4つの柱】

「省エネ」…… 一歩進んだ省エネルギー化の推進
「創エネ」…… 再生可能エネルギーの積極的な導入
「エコ実感」… お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備
「環境調和」… 人と環境の調和による活気の創出

【各エコステモデル駅のコンセプト】



なお、「JR 東日本グループサステナビリティレポート 2018」において、その他の環境の取組みを紹介しています。併せてご覧ください。 (<http://www.jreast.co.jp/eco/pdf/>)